

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 谷口 優
 幹事 竹内 克豊
 広報・会報委員長 池森 由幸

No. 2

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会

第1416回 平成24年7月17日(火)

クラブフォーラム

委員会報告(ニコボックス・広報会報・会員資格)

先週の例会

第1415回 平成24年7月10日(火)晴

クラブフォーラム

委員会報告(クラブ奉仕・親睦・会場運営)

◆奉仕の理想

◆四つのテスト

◆出席報告

会員	39(34)名	出席	29名
出席率	82.76%		
前々回	6/26(修正出席率)	100%	

竹内幹事報告

- 次回例会終了後 クラブアセンブリーを開催致しますので、理事役員・各委員長はお残り下さいその後理事会を開催致します

谷口会長挨拶

超我の奉仕。無私の奉仕について

ロータリーの奉仕の第一モットーは「Service above self」(超我の奉仕)という言葉ですが、その原型となったのは「Service not self」(無私の奉仕)とされています。この言葉は、1911年8月22日に、第2回全米ロータリークラブ連合会大会で、ミネアポリス・ロータリークラブ会長のベンジャミン・フランクンクリン・コリンズが演説で使った言葉とされています。

後日この「Service not self」は、自己を滅却して、他人に奉仕するという極めて宗教色の強いもので、自己の存在を認めたくて他人に奉仕するという意味から「Service above self」に変更されたと言われています。この「Service above self」は、1920年の国際大会で始めて公式の場に登場し、その後紆余曲折を経て1950年の国際大会における決議50-11によってロータリーのモットーとして正式に採択されたのです。

「Service not self」という言葉は、本当に自己を犠牲にしてまで他者に奉仕しなさいと言うことを表しているのでしょうか。それを修正する形で、「Service above self」が採択されていることから、これをどう捉えるかは重要なものとなってきます。この言葉は、「コリンズ」が、全米のロータリー連合大会で語ったとされていま

すが、コリンズが所属していたミネアポリス・ロータリークラブでは、「Service not self」という考え方は1911年当時「会員同士に限定されていた相互取引を、ロータリアン以外の人にも広げようと言うことで、「自分一人」商取引を独占するのではなく、他の人達にも分け与える必要がある」というものだったそうです。

1910年代という時代背景としては、アメリカン・ドリームの名を借りた、極端な自由競争の時代で、ありとあらゆる策を弄して、金を儲けることに狂奔した時代であったと言われて

います。この時代の少し前にロータリーは誕生し、上記のような言葉「Service not self」を語るロータリー活動に皆先を争って入会し活動に熱中していたのです。従って、この言葉は「従来、会員同士で行っていた取引を、会員の取引が増えるように会員以外の人をも会員に紹介して、即ち、会員以外の人のために会員を紹介したのではなく、会員同士で行っていた取引を、会員の取引が増えるように会員以外の人をも会員に紹介して、会員の事業が発展するように進めていった」と解釈できると言われています。ではどこが良い点かと言えば、「自分のために」と言うことだけを考え、「仲間のために」と言うことを考えない時代背景の中で、「自分のためだけではなく、仲間のために」と言う考え方を実践したということ(自分のためだけではなく、仲間のためにも自分のノウハウを共有するという考えの実践です)。

この「Service not self」は、仲間を優先することでありましたが、ロータリーと共に発展・進化した「Service above self」へと形成されていったのです。この考えは、アーサー・フレデリック・シェルドンが唱えた「He profits most who serves best」と同じ考えとも言えると思います。

奉仕といっても職業と切り離せないものとして存在することです。つまり自分が商取引などを行っている中で、クラブの会員にプラスになることがあるのなら、紹介しようというのが原点にあるということです。従ってクラブあるいは会員が奉仕活動をするにしても総身にあった活動をするのが重要であるのではないのでしょうか。ということで締めくくらせて頂きます。

クラブフォーラム

◆吉田 玄 クラブ奉仕委員長



当クラブのクラブ奉仕委員会は親睦委員会・ニコボックス委員会・会場運営委員会・広報会報委員会の各委員長によって構成されています。クラブ奉仕委員会独自でなんらかのプロジェクトを計画する予定はありませんが、この四つの委員長さんの連携を図り、それぞれが活動しやすいように援助するのが、私の役割と存じています。

ロータリーの五大奉仕は、クラブ奉仕・職業奉仕・社

会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕がそれぞれ、ある資料にこんな事が掲載されていました。

「この五大奉仕を企業組織に例えてみますと、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕は、営業を担当する部門であり、クラブ奉仕はその営業部門を支える管理部門に相当すると言えるのではないのでしょうか。企業では営業部門と管理部門がお互いに支え合いながら、企業としての最大の成果が得られるように、運営を図って行きます」

クラブ奉仕委員会は、営業部門（他の四つの奉仕部門）が成果を発揮して頂けるように支えて行ければこれに勝る喜びはありません。

どうぞ一年間宜しくお願い申し上げます。

◆加藤 重雄 親睦委員長



私はロータリークラブの活動は会員相互の親睦が原点であると思います。この一年その推進役となり微力ではありますが一生懸命努めてまいります。幸い、もう一つの親睦でもあります季楽会の方の幹事も昨年引き続きさせていただくことになりました。合わせて親睦が充分計れるよう努力します。

まず例会時に以前行われていたように親睦委員として「タスキ」をキチンと掛けるようにします。

又、例会を変更した場合のその日のメイクアップは委員長もしくは、委員が必ず待機をするようにします。年間行事予定は委員会で各委員さんの意見を尊重し、決めていくようにします。

差し当たり、秋季家族会は予約の関係もありましたので、11月13日（火）の例会後に新名古屋ミュージカル劇場で古代エジプトの愛の物語劇「アイダ」を観ていただくように計画しました。この後、12月11日（火）の今年最後の例会、又その後の年末家族懇親会12月18日（火）等につきましては、委員会にて進めさせていただきます。

一年間会員家族の親睦が深まるよう頑張りますので、宜しくお願いします。

◆大谷 恩 会場運営委員長



今年度の会長のキャッチフレーズである「自覚したロータリー実践」を念頭に置き、例会がスムーズ、円満に進行できるように努力する。

また、例会はルールに則った運営を行い幹事、SAA との連携を図るとともに、親睦、ニコボックスなどの関連委員会と綿密な打ち合わせをし、会員、ゲスト、ビジターの方々に快適にお過ごし頂けるようにしたい。

今年度の事業計画として、

①例会が秩序正しく効率的に開催できるように準備を行なう。

②会長の方針が例会運営に反映されるように努力し、快適な環境の中で開催できるようホテル側との打ち合わせを綿密に行なう。

③参加いただいたゲスト、ビジターの方々に快適にお過ごし頂き、好印象を与えられるよう努力する。例会の出席を奨励し、出席できない場合は必ず他クラブへの例会出席メイクアップをお願いする。

④例会の出席を奨励し出席できない場合は必ず他クラブへの例会出席メイクアップをお願いする

⑤年間皆出席、ホームクラブ皆出席の会員には記念品を贈り表彰する。

⑥喜寿、米寿のお祝いを行なう。

以上、会場運営委員会として様々な面に配慮し責任を持って行ないたい。

ニコボックス

(7月10日)

池森 由幸	またまた足が痛い！	
谷口 優	本日よりウィークリーの題字がかわりました	
足立 一郎	萩原喜代子	林 正路
伊藤 健文	加藤 重雄	川端 圭
小林 明	近藤 和幸	榎木 充明
松居 敬二	宮尾 紘司	三好 親
西川 豊長	大口 弘和	大谷 恩
尾関 武弘	佐野 寛	笹野 義春
鈴木 理之	鈴木 聖三	竹内 克豊
竹内 眞三	舎人 経昭	渡邊 源市
吉田 玄		

委員長の皆さん 報告宜しくお願ひ致します

合計 36,000 円

(7月3日)

谷口 優	今日から宜しくお願ひします
竹内 克豊	皆様 不安でしょうが1年間宜しくお願ひします
萩原喜代子	ご夫人誕生日祝い
林 正路	谷口さん竹内さん年度の門出に乾杯！
池森 由幸	今年新世代委員長です
小林 英毅	1年間よろしくお願ひすると共にご協力お願ひします
小山 雅弘	肩の荷がおりました
三好 親	谷口さん 宜しくお願ひ致します
大口 弘和	今年1年ニコボックス宜しくお願ひ致します
笹野 義春	ニコボックスは奉仕の泉です
鈴木 理之	下呂の友人から宿泊のチケット 皆様お使ひ下さい
鈴木 聖三	ご夫人誕生日祝い
山本 眞輔	養老孟司さんの I.M. 記念講演要旨が「ロータリーの友」7月号に掲載されました
渡邊 源市	ご夫人誕生日祝い
足立 一郎	谷口会長 竹内幹事 今年度 どうぞよろしくお願ひ致します
川端 圭	会員誕生日祝い
宮尾 紘司	谷口会長 竹内幹事 1年間思う存分会の運営してください
佐野 寛	鈴木 聖三 1年間親睦委員長をさせて頂きました皆様のご協力のもと無事終了しました心より感謝します
和田 正敏	山本 眞輔 谷口竹内ラインでよろしくご指導下さい
大谷 恩	尾関 武弘 谷口 竹内年度の門出に乾杯！
榎尾 富二	近藤 和幸 次年度の萩原 渡邊年度もよろしくお願ひします
	伊藤 健文 加藤 重雄
	近藤 和幸 松居 敬二
	西川 豊長 佐久間良治
	高橋 智尚 竹内 眞三
	吉田 玄
	新年度 谷口会長 竹内幹事の船出を祝って！
	尾関 武弘 佐久間良治
	会員誕生日祝い
	近藤 和幸
	ご夫人誕生日祝い

合計 146,000 円

次回例会 平成24年7月24日（火）

卓話 演題 “株式市場の見直し”

3F 錦の間

会員 近藤 和幸君